

鉄の話題 2024

兵庫の人々と鉄との出会いの歴史をたどる特別展 10月5日(土)~11月24日(日)

兵庫県立歴史博物館の特別展「兵庫鉄ものがたり」案内転記

ひょうご鉄ものがたり

兵庫と鉄 歴史たどる

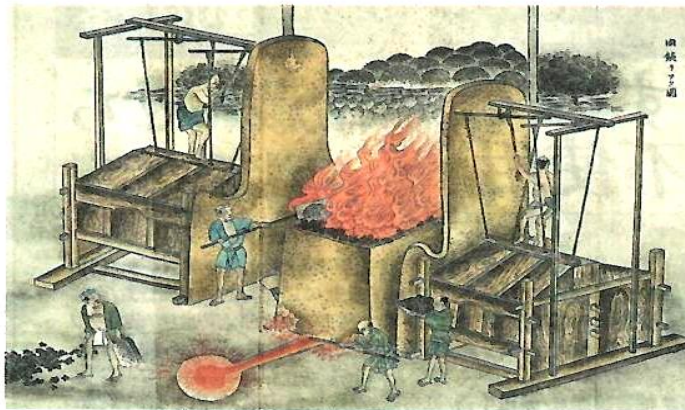
10月5日から

県立歴史博物館

兵庫の人々と鉄との出会いの歴史をたどる特別展「ひょうご鉄ものがたり」を県立歴史博物館（姫路市本町2079・288・9011）で開催します。

淡路島で発見された約2千年前の国内最大規模の鉄器生産遺跡や奈良時代の播磨国風土記に記された古代製鉄の記録、江戸時代に営まれた「たたら製鉄」など、兵庫県は製鉄と深い関わりを持ってきました。近代以降は臨海部の工業地帯で大規模な製鉄業が始まり、現代において

絵画や刀剣など130件展示



も兵庫県の重要な産業の一つと言えます。

本展では、たたら製鉄の様子を描いた絵画や穴粟の鋼を用

いて鍛えられた刀剣など歴史資料約130件を展示します。ひょうご歴史研究室を中心に進めてきた研究成果を基に、弥生時代から現代に至る兵庫での鉄づくりの歩みを紹介します。

会期 10月5日(土)～11月24日(日) 10～17時(入場は16時半まで)。月曜、10月15日、11月5日休館(ただし10月14日、11月4日は開館)

観覧料 一般千円(800円)、大学生700円(550円)、70歳以上500円、高校生以下無料。かつこ内は20人以上の団体料金

主催 兵庫県立歴史博物館、神戸新聞社

「先大津阿川村山砂鉄取之図」江戸時代末期、東京大学工学・情報理工学図書館 工3号館図書室蔵

久しぶりに「鉄」の展示会の案内が新聞に掲載。写真はかつての赴任先 山口県長門の「白須たたら」の絵図にびっくり。県立考古博物館が播磨町に開設され、少し遠のいていましたが、兵庫播磨の古代鉄・たたら遺跡等の調査のセンター的博物館。かつて、何度もシンポや特別展に通いました。

一時的「たたら製鉄・古代鉄」ブームが去って、遠のいていましたが、新しい成果も含めた「兵庫の鉄」の鉄の特別展。どんな新しい展開が報告されるのか……興味津々。開催を楽しみにしています。ご興味があればぜひご紹介。久しぶりに「先大津阿川村山砂鉄取之図」に出会えるかも???

参考 ひょうご鉄ものがたりチラシ_表 (hyogo.lg.jp)

<https://rekihaku.pref.hyogo.lg.jp/wp-content/uploads/2024/08/55937a5de0fb01b78875cf40c759d617.pdf>

2024.8月 Mutsu Nakanishi